

にらさき

第1回臨時会	P 2
第3回定例会（9月）	P 3
ここが聞きたい(代表・一般質問) ..	P 5
議員紹介	P 12



9月27日に告示されました「菰崎市議会議員一般選挙」では、定数18名に対し、19名の立候補の届け出がありました。10月4日に投・開票され、市民の代表として18名の議員が当選しました。

なお、各議員を12頁に紹介していますのでご覧ください。

〔議員任期〕 平成27年10月10日から平成31年10月9日



宮川文憲副議長(左)、森本由美子議長(右)

就任あいさつ

市民の皆様には、日ごろから市議会活動に、また市政躍進のために大きなご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

私たちは、平成27年第1回臨時会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、第63代議長、第64代副議長にそれぞれ就任いたしました。この職責の重さに身が引き締まる思いです。

先般、本市の名誉市民であります大村智博士がノーベル医学・生理学賞の受賞者に選ばれました。

また、今月はじめには文化勲章を受章され、大村博士の喜びと感謝の声、新聞、テレビ、インターネット等を通じ広く伝えられました。議会からも市民の皆様とともに心からお祝いを申し上げます。

私たち議員も、大村博士がおっしゃっていました「ひとのためになること」「ふるさとを大切に作る心」を強く心に留め、市の施策・事業に積極的に関与して活発に議論していくとともに、たゆみない議会改革を推進する所存です。引き続き皆様に親しまれる議会活動を進めてまいりますので、定例会等の傍聴、議会報告会などにも是非ご参加ください。

今後も議会の活動に皆様のご理解とご協力をお願い申し上げまして、就任のあいさつとさせていただきます。

平成27年

第1回

臨時会

市議会議員改選後、10月14日から16日に初めての議会が開催されました。選挙後最初の議会であり、議長が選挙されるまでの間、地方自治法第107条（年長の議員が臨時に議長の職務を行う）の規定により輿石賢一議員が臨時議長を務め、議事を進行し審議しました。

また、16日には正副議長選挙を行い、議長に森本由美子議員、副議長に宮川文憲議員が当選しました。

■議長選挙について

当選 森本由美子 議員

[投票総数18票 ⇒ 森本由美子議員 16票 小林恵理子議員 2票]

■副議長選挙について

当選 宮川 文憲 議員

[投票総数18票 ⇒ 宮川 文憲議員 16票 渡辺 吉基議員 2票]

第1回臨時会において議会運営委員会及び各常任委員会の選任を行いました。各委員会の構成は次のとおりです。また、議員の改選に伴い、新たに会派結成届が提出されました。

■議会運営委員会

議会の開催日程の調整や公正円滑に運営されるよう協議するほか、議案や請願・陳情などをどこの常任委員会に振り分けるか(これを「付託」といいます)を審査します。

委員長 輿石 賢一
副委員長 浅川 裕康
委員 小林恵理子 一木 長博
西野 賢一 田原 一孝
小沢 栄一

■財務常任委員会

予算、決算に関する事項について審査します。

委員長 高添 秀明
副委員長 清水 康雄
委員 小林恵理子 一木 長博
輿石 賢一 小林 伸吉
田原 一孝 山本 雄次
守屋 久 浅川 裕康
渡辺 吉基 内藤 正之
小沢 栄一 木内 吉英
金井 洋介

■総務教育常任委員会

政策秘書課、総務課、企画財政課、会計課、議会事務局及び教育委員会の所管する事項及び他の委員会に属さない事項を審査します。

委員長 小林恵理子
副委員長 浅川 裕康
委員 西野 賢一 高添 秀明
小沢 栄一 木内 吉英

■市民生活常任委員会

市民課、税務課、収納課、福祉課、介護保険課、保健課、静心寮及び市立病院の所管する事項を審査します。

委員長 守屋 久
副委員長 小林 伸吉
委員 一木 長博 輿石 賢一
宮川 文憲 渡辺 吉基

■産業建設常任委員会

環境課、農林課、商工観光課、建設課及び上下水道課の所管する事項を審査します。

委員長 山本 雄次
副委員長 内藤 正之
委員 森本由美子 田原 一孝
清水 康雄 金井 洋介

■各会派の名称及び所属議員

議会内で政策を中心とした理念を共有し、活動を共にする議員の集まりを会派と称しています。

きゅうせい 蕤誠クラブ ☆高添 秀明 宮川 文憲
守屋 久 一木 長博
西野 賢一 浅川 裕康
内藤 正之 小沢 栄一
金井 洋介
 きょうしん 協伸クラブ ☆輿石 賢一 山本 雄次
木内 吉英
 にほんきょうさんとう 日本共産党 ☆小林恵理子 渡辺 吉基
 こうめいとう 公明党 ☆小林 伸吉 森本由美子
 きゅうしん 蕤進クラブ ☆田原 一孝
 しんわ 親和クラブ ☆清水 康雄

(☆印は、会派会長)

【人事】

■各常任委員会及び議会運営委員会委員の選任について

2頁のとおり選任されました。

■監査委員の選任について

市議会議員の任期満了に伴い、欠員となっていた議会選出の委員を選任するため、市長から議会の同意を求める提案がされ、西野賢一議員の就任が決定しました。

■教育委員会委員の任命について

教育委員会委員 清水めい子氏の任期が平成27年10月28日満了となるため、その後任者の任命について市長から議会の同意を求める提案がされ、次の方の選任に同意しました。

山寺 園江 氏 (穴山町)

■固定資産評価審査委員会委員の選任について

固定資産評価審査委員会委員 内藤まつ子氏の任期が、平成27年10月22日満了となるため、その後任者の選任について市長から議会の同意を求める提案がされ、次の方の選任に同意しました。

秋山加代子 氏 (大草町)

【選挙】

■選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について

平成27年10月31日に任期満了となるため、地方自治法第182条の規定により議会において選挙した結果、次の各氏が指名推選により当選しました。

【委員】

保坂 孝夫 氏 (本町) 雨宮 勝己 氏 (下祖母石)
穂阪ふみ子 氏 (藤井町) 藤原 晴人 氏 (清哲町)

【補充員】 ※委員が欠けた場合には補充員の中から補充されます

名取 源文 氏 (穂坂町) 横内 榮 氏 (龍岡町)
横川 清 氏 (本町) 清水美智子 氏 (旭町)

■事務組合・水道企業団・広域連合議員の選出について

市議会議員の任期満了に伴い、欠員となっていた広域組合等議会の議員の選出については、それぞれ指名推選により次のとおり当選が決定しました。

【峡北広域行政事務組合議員】

浅川 裕康 守屋 久 宮川 文憲
田原 一孝 西野 賢一 輿石 賢一

【峡北地域広域水道企業団議員】

木内 吉英 高添 秀明 山本 雄次
一木 長博

【山梨県後期高齢者医療広域連合議員】

守屋 久

平成27年 第1回臨時会議決結果一覧表

議案番号	件名	結果
議案第67号	監査委員の選任について	同意
議案第68号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第69号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
選挙第4号	選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について	当選
選挙第5号	峡北広域行政事務組合議員の選挙について	当選
選挙第6号	峡北地域広域水道企業団議員の選挙について	当選
選挙第7号	山梨県後期高齢者医療広域連合議員の選挙について	当選

(森本由美子議長を除く)

※議案第67号の審議及び採決においては、西野賢一議員は地方自治法第117条の規定により、一身上の案件に係る議案であり退席、渡辺吉基議員及び小林恵理子議員は棄権しました。

他の議案及び選挙については、全会一致で同意及び当選しました。

第3回 定例会

平成27年第3回定例会は、8月31日から9月18日までの19日間の会期で開催しました。

今議会で審議した議案及び採決の結果については、4頁の「平成27年第3回定例会議決結果一覧表」をご覧ください。

【平成26年度決算及び平成27年度補正予算】

平成26年度の一般会計〔歳入総額136億5,422万6千円 歳出総額132億2,282万9千円〕のほか、特別会計、企業会計の決算及び平成27年度の一般会計補正予算(第2号)等の追加は、それぞれ財務常任委員会で審査された後、本会議で審議し、決算は認定、補正予算は可決されました。

※平成26年度決算額の詳細は広報にらさき11月号をご覧ください。

【人事】

■公平委員会委員の選任について

公平委員会委員 浅川 力氏の任期が平成27年9月19日満了となるため、その後任者の選任について議会の同意を求める提案がされ、次の方の選任に同意しました。

加藤 進 氏 (中央町)

【選挙】

■牛ヶ馬場恩賜県有財産保護組合議員の選挙について

牛ヶ馬場恩賜県有財産保護組合議員の任期が平成27年9月30日満了となるため、指名推選により次の各氏が当選しました。選挙すべき議員の地域及び定数は、穂坂町4人、藤井町6人です。

穂坂町…望月 正澄 氏 曾雌 源興 氏 大柴 正明 氏 大柴 正憲 氏
 藤井町…作地 郁男 氏 宮川 良治 氏 保阪 宏悟 氏 小泉 泰夫 氏 小澤 力 氏
 野口 五男 氏

【主な条例の制定】

■空家等対策の推進に関する条例

地域住民の防災、衛生、景観等の生活環境に影響を与えている管理不全な空家等の適正管理を促進し、市民の生活環境の保全、空家等の活用を図るため条例を制定しました。

施行期日 平成27年12月1日

平成27年 第3回定例会議決結果一覧表

■賛否のあった議案

○賛成 ●反対 (清水一議長を除く)

議案番号	件名	浅川 裕康	守屋 久	宮川 文憲	高添 秀明	清水 康雄	西野 賢一	小林 伸吉	奥石 賢一	秋山 泉	岩下 良一	森本 由美子	野口 祐明	藤嶋 英毅	一木 長博	清水 正雄	小林 恵理子	結果		
議案第59号	放課後子ども教室条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決	
認定第1号	平成26年度一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	認定
認定第2号	平成26年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	認定
認定第3号	平成26年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	認定
請願第26-8号	消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	不採択
請願第27-2号	安全保障関連法案の徹底審議を求める請願書	●	●	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択

■全会一致の議案

議案番号	件名	結果	議案番号	件名	結果
報告第11号	平成26年度健全化判断比率の報告について	了承	認定第6号	平成26年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
報告第12号	平成26年度簡易水道特別会計に係る資金不足比率の報告について	了承	認定第7号	平成26年度介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
報告第13号	平成26年度下水道事業特別会計に係る資金不足比率の報告について	了承	認定第8号	平成26年度第一鈴嵐恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
報告第14号	平成26年度国民健康保険葦崎市立病院事業会計に係る資金不足比率の報告について	了承	認定第9号	平成26年度第二鈴嵐恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
報告第15号	平成26年度水道事業会計に係る資金不足比率の報告について	了承	認定第10号	平成26年度第二御座石前山恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第54号	平成27年度一般会計補正予算(第2号)	認定	認定第11号	平成26年度旭山恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第55号	平成27年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)	認定	認定第12号	平成26年度八森恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第56号	平成27年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	認定	認定第13号	平成26年度戸沢日影半腹裾恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第57号	平成27年度水道事業会計補正予算(第1号)	認定	認定第14号	平成26年度青木御座石財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第58号	空家等対策の推進に関する条例	可決	認定第15号	平成26年度国民健康保険葦崎市立病院事業会計決算の認定について	認定
議案第60号	個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決	認定第16号	平成26年度水道事業会計決算の認定について	認定
議案第61号	情報公開条例の一部を改正する条例	可決	請願第27-3号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	採択
議案第62号	手数料条例の一部を改正する条例	可決	議 第 3 号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書の提出について	可決
議案第63号	景観条例の一部を改正する条例	可決	選挙第3号	牛ヶ馬場恩賜県有財産保護組合議員の選挙について	当選
議案第64号	市道の路線認定について	可決			
議案第65号	辺地総合整備計画の変更について	可決			
議案第66号	公平委員会委員の選任について	同意			
認定第4号	平成26年度簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	認定			
認定第5号	平成26年度下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定			

請願

☆請願第26-8号

消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願（継続審査案件）

☆請願第27-2号

安全保障関連法案の徹底審議を求める請願書（継続審査案件）

請願第26-8号は平成27年第2回定例会（6月）から、また請願第27-2号は平成26年第3回定例会（9月）から総務教育常任委員会で継続審査されていましたが、今議会の委員会で採択すべきものと決したことが報告されました。

本会議において、それぞれ採決の前に採択を求める立場から討論が行われ、採決の結果、両請願は不採択と決しました。

意見書

☆議第3号

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書の提出について

今議会に葦崎市PTA連合会ほか3団体の連名で請願が提出され、総務教育常任委員会の審査報告を受け本会議で審議、採決した結果、可決しました。

なお、意見書は議会の意思として、内閣総理大臣ほか関係大臣に提出しました。

【意見書の概要】

1. 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため30人以下学級とすること。
1. 義務教育の根幹である、教育の機会均等・水準確保・無償制の維持に不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
1. 教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。

代表質問 一般質問

にらさきの まちづくり ここが聞きたい

11人の議員が市政を問う

代表質問及び一般質問の内容は、項目は抜粋、質問と答弁は要約したものです。

詳細な内容は、“[葦崎市ホームページ](#)→市議会→会議録検索”でご覧いただけます。録画中継も配信しています。

代表質問

葦崎市版創生総合戦略策定について

質問 少子高齢化社会

人口減少、人口流出、地方の衰退、財政難など厳しい社会経済情勢にありますが、市町村には住民本位の行政を押し進めていくことが求められています。このような情勢下から、国では「まち・ひと・しごと創生法」を制定したところであり、これを受けて本市でも市民はもとより産学官等多くの有識者が参画して「葦崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を進めています。まさに今の地方自治体に求められる、自らの責任のもとで自らの進むべき方向を定めていくことであると考えています。その取り組みについて伺います。



一木 長博 議員
【葦政クラブ】

その他質問

- ◆ 市政運営のテーマ「チーム葦崎」について
- ◆ 財源基盤の強化、市税の確保策について

2. 「葦崎市版創生総合戦略」策定審議会委員構成及び4つの戦略チーム「チーム葦崎」の構成メンバーと戦略担当について。

3. 市長マニフェストの3つの挑戦を実現させる手段としての本市の強みや特性を活かした戦略の策定について。

4. 国等からの支援、「情報支援」「人的支援」「財政支援」についてはどのように考えているのか。

答弁市長 はじめに、策定手順とスケジュールに対する進捗状況についてです。

策定の手順としては、第6次長期総合計画を最上位計画と位置付けた上で、「葦崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定審議会」を設置し、現在、戦略のテーマに沿った4つのチームにおいて施策を立案し、審議会において検討していま

す。また本戦略は、数回にわたるチームの検討会と審議会を経て、11月には市民の皆様から意見をいただくためのパブリックコメントを予定し、本年中の策定に向け進めています。

続いて、審議会委員構成及び戦略チームメンバーの構成と戦略担当についてです。審議会については「産・官・学・勤・労・言」各界からの参画をいただいています。また戦略チームについては、まちづくりに意欲的な市民の方及び市職員で構成し、「産業・雇用」「移住・住宅」「婚活・結婚・出産・子育て」「地域のつながり・安心・安全」について、チームごとに担当しています。

続いて、3つの挑戦の実現に向けては、豊かな自然環境、高速道路交通網、高品質な農産物、製造事業所の技術力などを活かした戦略策定に取り組んでいます。

続いて、国等からの支援については、今後、地方創生に取り組んでいく過程において、様々な状況で「情報・ひと・財源」など国からの支援が必要であると考えています。



清水 正雄 議員
[共伸クラブ]

地方創生、葦崎版、総合戦略の策定について

質問 市の将来を見据えた次の重要課題について、明確な方向性を示していただきたい。

- ① 耕作放棄地と農業後継者不足について。
- ② 中心市街地商店街の持続性の方策について。
- ③ 学校統合にはどのような考え方が。

答 市長 移住・定住を希望される方の中で就農希望者には、農地と農業技術支援はもとより、後継者のいない農家には意欲的な方をつなぐ支援や地域ブランド化に向けた起業支援を提案します。次に中心市街地への方策は、希望者のニーズに沿った生活環境について、若者への起業支援による空き店舗対策を考えています。次に学校統合は、子育て支援策で交流、定住人

口増加策が議論されており、今後、義務教育のあり方も重要な課題であると考えています。現在統合は考えていません。

「ストップ人口減少」戦略について

質問 人口減少対策に係り「少子化抑制」「移住定住促進」それぞれの戦略の基本は何か。

答 市長 少子化抑制は子どもを安心して生み育てられる環境づくりを、移住定住促進は暮らしやすい気候と生活の利便性を兼ね備えた「ほどよい田舎」の情報発信を戦略の基本としています。

質問 移住者は縁もゆかりもない地へ住むので仲介者や世話役が必要となるが、その体制をどうするか。

答 市長 地域での受け入れ気風を構成することが重要なので啓発を進めます。また明年度に市民交流センター内へ移住相談窓口の設置を進めます。

もうかる農業、もうかる商工業の展開について

質問 山梨県は先般、「もうかる農業」を基本目標とした骨子案を発表したが、本市のもうかる農業戦略の取り組みをどうするか。

答 市長 第6次産業化や販路拡大等、農業所得向上を目指してJ A 梨北と連携を図り研究していきます。

質問 ちらさきキラリ会が進めている店舗内の「見える化」を広め、もうかる商業へつなげていく考えは。

答 市長 まちなかの個店経営者ら有志による取り組みについて、自発的な拡がりや大いに期待を寄せています。

教育力の向上について

質問 全国学力テストで山梨県の児童・生徒は全国平均を下回ったと発表されたが、本市の児童・生徒の結果はどうか。

答 教育長 本市の平均正答率は小中学校5分野のほとんどで国や県の平均を上回る良い結果です。家庭学習の時間増加や生活リズムの改善等が功を奏していると思います。

質問 中学生の鳳凰山登山体験事業の総括をどうするか。

答 教育長 郷土愛を育む絶好の事業です。今後実施していく考えです。



小林 伸吉 議員
[公明党]

健康づくりの取り組みについて

質問 ヘルスケアポイントについて伺います。

答 市長 日本の健康寿命は2013年で男性71歳、女性74歳であり、平均寿命と男性で約9年、女性で約12年の開きがあります。介護が必要になった原因では、関節疾患、骨折などの運動障害が要支援者の37%、介護者の20%を占めており、適度な運動を促す取り組みは健康維持につながり、増え続ける医療・介護費を抑える上でも重要です。

質問 健康づくりへの取り組みに特典を与えるヘルスケアポイント制度は、楽しみながら、病気やけがの予防につながる試みとして、健康づくりの動機づけとして注目されています。同ポイントは、一定の運動をしたり、健康診断を受けた場合などにポイントが付与され、ポイントが健康グッズなどに交換できます。既に一部の健康保険組合や市町村が実施しており、本市が健康寿命日本一を目指す上で、市民の皆さんが健康づくり活動に参加する動機づけとなるこの取り組みが必要と考えます。市の考えを伺います。

答 市長 総合健診や健康教室、健康相談などの健康づくり活動において、多くの市民が参加する動機づけは重要であると考えているので、ヘルスケアポイント制度についても、今後、国のガイドライン等を注視しながら検討していきます。

その他質問

◆地方創生の取り組みについて

称賛も必要と考えます。市の考えを伺います。

答 市長 ラジオ体操やウォーキング等の適度な運動を継続することは、健康を保持するために大切なことなので、市内で長期に渡り活動している団体については、広報等で紹介して市内全体に健康づくりの活動が広がるよう努めていきます。

道路交通法による架橋等の点検について

質問 自治体などの道路管理者が、点検、診断、措置、記録というメンテナンスサイクルの確立のため、具体的な点検頻度や方法、道路の維持、修繕に関する基準を定める道路法施行令が昨年7月に施行されました。市の管理する橋梁等の数と点検状況を伺います。

答 市長 橋梁219橋、トンネル3力所、歩道橋1力所が対象です。点検の実施状況は、橋梁219橋の内、本年度66橋の点検に着手したところであり、残りの橋梁等は、平成30年度までに点検を行う計画です。

一般質問



宮川 文憲 議員
[葦政クラブ]

その他質問

- ◆都市計画道路の見直しについて
- ◆岩根地区上水道の施設整備について
- ◆耕作放棄地対策
- ◆降ひょう被害果樹農家への支援について

人口対策総合戦略の計画策定について

質問 県外からの移住希望者を対象に7月1日から「お試しし定住無料貸出制度」がスタートしましたが、具体的なPRの取り組みを伺います。

次に人口対策及び地域活性化は、多角的な将来ビジョンの検討が必要で、どのような施策に基軸を置いて活力ある地域づくりを目指すのか伺います。

答 市長 お試し住宅の利用希望者へ具体的な周知は、市のホームページや移住希望者向け情報サイトへの掲載、主要都市で開催する移住セミナー等で周知に努めています。次に活力ある地域づくりには、産業・雇用、移住・定住、婚活・結婚・出産・子育て、地域のつながり・安心・安全について総合戦略を策定していきます。

質問 親善大使や本市出身の県外在住者などの人脈を活用し、葦崎市の良さを広くPRしていく考えは持たれていますか。

答 企画財政課長 人から人への温もりのあるPRは大切なので、親善大使や本市出身のふるさと大使20名にも協力をお願いし、十分なPRを行うっていく考えです。

質問 計画の策定には、若者の意見も広く聞き入れることも大切ですが。

答 市長 人口問題への若者の意見は非常に重要であり、高校生の意見、大学を卒業して帰ってこられた方々からも広く意見を吸収して、実行可能な施策をつくり、力強く実行していく考えです。

質問 県では専門学校を創設する計画があります。交流人口対策として学園誘致の働きかけは行っているのか伺います。

答 企画財政課長 総合戦略チームの中の担当

チームの議論で技術系専門学校の設定、誘致は必要性が高いとされ、今後も情報収集に努め県にアプローチを行っていきます。

質問 人口減少に備えたコンパクトシティの形成も視野に入れ、計画の策定の中で議論はされたのか伺います。

答 企画財政課長 交通と情報を核としたコンパクトシティも意識する中で、その利点を求め議論していきます。

葦崎市立静心寮の運営

質問 入所者の利用実態や施設の老朽化が否めない中、今後の管理運営の方向性について伺います。

答 市長 今後の運営方法については、公共施設総合管理計画との連携を踏まえ、調査研究を進めています。

質問 調査研究の詳細を伺います。

答 福祉課長兼静心寮長 現在の養護老人ホームとして改修、存続するのか、介護・医療施設に併設していくのか、直営化、民営化も含め、効率化と快適性の向上を目指し、調査研究を進めています。



浅川 裕康 議員
[葦政クラブ]

その他質問

- ◆いじめ問題に対する本市の対応について
- ◆消火栓設置地権者に対する本市の対応について

東京オリンピック、パラリンピック競技大会への対応について

質問 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が5年後に予定されています。以下、質問します。

質問 サッカー代表国の事前合宿誘致を行うためには、一定のインフラ整備が必要ですが、そのインフラ整備に要する費用や、インフラ整備によって将来的に負担すると予想される費用と合宿誘致による経済効果等を試算し、比較したなどの経緯があれば示してください。

答 市長 現在、サッカーのまちづくり推進委員会において調査研究しています。キャンプ地の候補となるためには、競技施設や附帯施設に一定の規格要件を満たすことが求められるため、膨大な施設改修費用がかかる

伺っています。施設整備費用や滞在、宣伝等に要する経費及び経済効果等については、今後試算をする必要があると考えています。

質問 「サッカーのまちにらさき」を標榜する本市としては、サッカー代表国を誘致したいところですが、他の競技の代表国の合宿誘致ができるかについて検討した経緯があれば示してください。また例えば北杜市など近隣自治体との共同による合宿誘致が可能かどうか、見解を伺います。

答 市長 他の競技の誘致及び近隣自治体との共同誘致については考えていません。

いずれにいたしても、本市の財政状況やキャンプ地への費用対効果を考慮し、さらに研究していきたいと考えています。

質問 本市で合宿誘致をするとした場合、メイン施設は中央公園になると

考えますが、膨大な施設改修費用がかかるのとです。どのぐらいの費用が伺います。

答 企画財政課長 中央公園陸上競技場を想定した場合、目安ですが、最低でも10億円以上と考えています。

質問 10億円以上とのことですが、本市の財政を考えた場合に、5年後のサッカー代表国誘致を行うことが可能な額なのかどうか、見解を伺います。

答 企画財政課長 現状では、その他有利な財源等がない限り、限りなく難しいと考えています。

質問 他の競技の誘致、近隣自治体との共同誘致は考えていないとのことですが、他の競技でも利益が生ずるなら検討はすべきですし、共同での合宿誘致としてはならないというルールもありません。見解を伺います。

答 企画財政課長 本市は、他の競技の大規模な開催実績がないので、施設的な面から難しいと考えています。また共同誘致に関しては、宿泊施設等については本市だけの対応は無理なので、他市の施設利用等を考慮して考えたいと思います。



高添 秀明 議員
[荏政クラブ]

体育施設の整備と指導者育成について

質問 市内体育施設整備計画の策定の状況はどのようなになっているのか、また指導者育成についてはどのような支援を行ってきたのか伺います。

荏政教育委員長 先ず、市内体育施設整備計画については、昨年度、地域屋内運動場は改修及び建て替えとの答申を受けていますが、市営総合運動場体育館整備計画については、本年度中に答申を得られるよう努めていきます。

次に、指導者育成については、本年度よりスポーツ推進委員を7名増員し、20名体制となりました。県主催の研修会に積極的に参加し、指導力の向上を図る中で、各地区や児童センターなどの依頼により指導に当たっています。また、スポー

少年団の指導者については、指導者の資格取得に必要な講習会の参加料及びテキスト代を助成しています。今後も、より多くの指導者の発掘、育成に努め、本市のスポーツ振興を図っていきます。

ごみの自己搬入について

質問 龍岡町のごみ処理センターでは、毎月第4土曜日の9時から11時までの2時間、ごみの自己搬入を個人負担なしで行っています。私も粗大ごみなどを軽トラックに積んで利用しましたが、多くの車が並んで大盛況でした。今でも利用希望者は多いと伺っています。ごみを自己搬入で持ち込む量は年々増加している

ので、利用者の意見等も十分把握して、搬入機会を増やすことを検討すべきと考えますが、見解を伺います。

荏政市長 現在、自己搬入の日には、利用者が多くスムーズな搬入ができない状況であると同様です。市民のより一層

の利便性の向上と各地区ごみステーションにおける粗大ごみ収集の迅速化を図るため、自己搬入機会の拡大を前向きに検討していきます。

新府駅及び周辺の整備について

質問 本市には、JRの駅が3駅あります。荏政駅は駅前ロータリーが整備され、穴山駅は駐車場やトイレも整備がされました。また穴山駅の隣接地には公園も整備されています。新府駅も整備すべきと考えますが、見解を伺います。

荏政市長 新府駅の利用者のうち、駐車場や駐輪場を必要とする方が、地元をはじめ、近隣地区の方であることは十分承知しており、特に駐輪場の設置に関しては、地区や教育振興会から、度々要望をいただいていることも認識しています。平成24年3月定例会市議会でお答えしたとおり、駐輪場に適した用地を提供していただければ設置をしていきます。また、トイレの設置については、当駅を管理するJR東日本八王子支社に、改めて要望していきます。



岩下 良一 議員
[共伸クラブ]

市道の整備について

質問 荏政駅前近の市道荏政5号線(天神町通り)については、平成26年第4回定例会で私の提案に応えられ過日道路整備が完了し、多くの方から感謝の声が聞こえてきます。

この工事が完了したことにより、荏政駅舎南のガードから中央線沿いにある市道の整備との格差が目立つようになり、過日天神町及び日の出町両自治会長が連名で、市道荏政59号線の舗装改修を市長に要望しました。予算編成は大変なご苦労があることは承知していますが、舗装改修されることで、安全で安心して買物ができる街、老人にやさしい街、さらに中心街の活性化対策にもつながると思います。市長の所見を伺います。

荏政市長 市道等の整備

は、現場の状況を見て順次、対応をしています。市道荏政59号線の舗装については、交通量や歩行者の安全に配慮し、実施に向けて検討します。

釜無川堤防の安全対策について

質問 上祖母石地区の北に所在する釜無川堤防は、昭和34年8月の台風7号により決壊し、明治40年

以来の大水害になりました。あの恐怖から56年が経過しましたが祖母石、一ツ谷地区の住民の方々は、台風が近づくと34年災で決壊した堤防は大丈夫だろうか心配しています。県においては、テトラポットで補強してあり、毎年点検しているの

で心配ないとのことですが、住民の不安を和らげ、安全で安心して暮らせる地域づくりのため、市長におかれては、さらに堤防への補強について、県に強力に要望活動されるよう望みますが、所見を伺います。

プレミアム付き商品券取扱いの見直しについて

質問 6月1日に販売開始されたドリム商品券の一般分については、売り出し当日、短時間で完売になりました。市長におかれては、次回このような事業をする場合は、より多くの市民が利用できるように改善する考えがあるか伺います。

荏政市長 明年度以降、実施する場合には、今回の結果を鋭意検証し、市民にとって、より一層魅力あるものに改善していきたいと考えています。



森本由美子 議員
【公明党】

その他質問

- ◆女性特有のがん対策について
- ◆重度心身障がい者（児）医療費助成の支払い方法について

女性視点での防災対策

質問 東日本大震災を教訓として、被災者への物資の提供や避難所の運営などに関して、女性の視点が十分に反映されていないことが指摘されています。以前より葦崎市防災会議に3割以上の女性委員を登用することをはじめ、防災対策に係り、女性、高齢者、障がい者等の立場から避難所の運営や備蓄のあり方を女性の視点から見直すことについて提言してきました。さらに平成25年4月、内閣府から「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」が発表され、全国で加速度的に女性の視点が盛り込まれているものと認識しています。本市では女性の視点を活かした防災対策をどのように進めているのか。

答弁市長 現在、市の防災会議の委員21名のうち

日赤関係、女性団体から2名を委嘱し、自主防災組織連絡協議会、地域減災リーダー連絡協議会には副会長として参画しています。備蓄の面でも、本年度、避難所での女性の着替え、授乳等に配慮したプライベートルーム20基を7カ所の防災備蓄倉庫に配備しました。

質問 アレルギーへの対応については。

答弁総務課長 災害時の生活必需物資の調達等に関する協定をスーパーマーケットやドラッグストア等と協定しており、優先的に調達することとしています。

障がい者、高齢者等への防災対策

質問 福祉避難所は、高齢者、障がい者、妊産婦、乳幼児、病弱者などが一般の避難所で過ごすには支障がある場合に安心して避難生活ができる二

次のな避難所です。本市の福祉避難所のガイドラインや各施設の運営マニュアルの作成はどのような状況か。

答弁市長 日本赤十字社の福祉避難所の設置・運営に関するガイドラインを参考に避難行動要支援者避難支援プランを作成中であり、各施設にも協力を求めています。

小・中学校の防犯対策

質問 8月26日の夜から27日の朝にかけて、小学校の校舎の窓ガラス5枚が割られるという事件がありました。保護者や地域からも不安な声が上がっており、さらなる防犯の強化が求められています。対策は。

答弁教育長 これまで警備員の配置やセンサーライトなどの配備のほか、校舎の夜間警備は全ての学校で警備会社による機械警備を行っています。今回の事件を受け、全小・中学校に防犯カメラを設置し、安全対策を図りました。今後必要に応じて防犯カメラの増設や今まで以上に警察署や地域と連携した巡回・見守りの強化を図ります。



小林恵理子 議員
【日本共産党】

その他質問

- ◆市長の政治姿勢について
- ◆葦崎市空家等対策の推進に関する条例について
- ◆マイナンバー制度について

重度心身障がい児医療費助成の窓口無料化について

質問 甲斐市と上野原市は、障がい児の受診について独自に窓口無料を復活させます。市民から「病院で障がいのある児童を受診させ、診察後さらに会計で待たされる大変さわかってほしい」との切実な声があります。中学3年生までの重度の障がい児の医療費助成自動償還払いをこども医療費助成対象児童と同様に窓口無料に変更すべきです。

質問 必要に応じて検討すると思いますが、他市町村の動向は関係ないのか伺います。

答弁市民課長 今後、県及び他市町村の状況を勘案して検討していく考えです。

質問 先の議員に、窓口無料に戻した場合の負担増は210万円が見込まれるとの答弁でしたが、この金額で不公平感が解決できます。市民の切実な声に耳を傾け、率先してすべきではないですか。

答弁市長 貴重なご意見があることを十分認識しまして、できる限り前へ進められるように、また努力をしています。

葦崎市景観計画の変更と景観条例の一部改正

質問 太陽光パネルの普及に伴い、景観との調和を図るため、届出対象を山岳森林・高原樹園、神山地区のゾーンでは敷地

500㎡以上、まちなか・田園ゾーンでは1000㎡以上とし、太陽光発電施設に関する景観形成基準を設けますが、このゾーンの限定、敷地面積の根拠を伺います。また計画、条例変更は10月1日施行ですが、既存の施設に対し今回の変更を説明して理解を求めめることも必要と考えます。

答弁市長 太陽光パネルは敷地全面を利用するため高台等では目立つ傾向にあるので、山岳森林ゾーン、高原樹園ゾーン並びに景観重点ゾーンである神山地区は、届出対象規模を500㎡に引き下げました。また既存の施設への遡及適用は考えていません。

国民健康保険税の多子減免制度

質問 子育て世代を応援する意味での国保税の軽減措置を求めます。子どもが多いほど保険料が増える均等割に対する軽減措置を設けるべきです。

答弁市長 低所得者対策としての均等割、平等割の軽減を実施しており、多子世帯の6割以上が対象となっているので、現時点では減免制度の創設は考えていません。



藤嶋 英毅 議員
[経世クラブ]

その他質問

- ◆平和安全法整備法等の強行成立を図る政治情勢に関する市長の見解について
- ◆釜無川河川敷立木の伐採と河川管理に関する意識の改革
- ◆御堂橋の改修
- ◆貧困家庭の子育て支援策について
- ◆市営総合運動場の整備について

雇われる側の論理ではありません。仕事に必要な職員です。処遇改善をすべきだと思います。

非正規職員等の報酬等改善について

質問 平成27年4月1日現在で、臨時職員及び非常勤嘱託職員は全職員の34%の194人に達しています。問題は報酬です。例えば非常勤の教育支援スタッフ、保育士も正規職員と同じ意気込みで仕事をしていると思います。少なくとも3年単位の報酬を引き上げるなどできないですか。

今後適正な基準の設定に努めます。

質問 月額報酬に上乗せする職歴調整額はどのくらいですか。

回答 政策秘書課長 現在の調整額は5年目を限度として、ベースとなる月額報酬に給料表の2号分を1年ごとに加算しています。5年目からは特別教育支援スタッフの162,200円は179,300円、保育士の154,800円は168,900円が調整額を加えた支給額合計額です。

質問 10年というような長期に勤務しても調整額の加算はないのですか。

回答 政策秘書課長 非常勤職員は原則1年の雇用が基本であり、採用する時点から長期の雇用を想定した設定は困難です。

質問 原則1年とのことですが、実際には長期雇用職員がいます。長期雇用を想定した設定が困難とは雇業者の論理であり、

質問 関係各課で毎年雇用する際に本人の希望、意見等を聴取して採用していますが、関係部署と協議していきたいと思えます。

人口減対策に合計特殊出生率の向上策を

質問 人口の減少は日本全国に共通した問題です。2014年の合計特殊出生率は、1.42です。2.07を下回ると人口減少に向かうとされています。本市は合計特殊出生率の向上にどのような取り組みを考えていますか。

回答 市長 現在の出産、子育ての支援策に加えて、総合戦略策定のための市民アンケートの結果も踏まえ、婚活イベントなど若い人達の出会いの場づくり、イクメン支援、企業による積極的な子育て支援などを考えています。



守屋 久 議員
[創生会]

ナルセーフスクールに掲げられている考え方も参考にし、学校の安全・安心に活かしていきたいと考えています。

インターナショナルセーフスクールの導入について

質問 けがや事故、暴力等の原因や課題を明らかにすることで、体系的な予防策を講じ、安全で健全な学校づくりを進めるインターナショナルセーフスクールという認証制度を活用して、子どもたちの安全を確保し、事故等回避する視点で導入できるか見解を伺います。

回答 教育長 インターナショナルセーフスクールは、有効な取り組みと認識していますが、認証されている学校は今のところ国内で5校のみであり、現在のところ導入する考えはありません。

本市では、これまでも警備員の配置やスクールガードボランティアによる見守り、通学路の合同安全点検やいじめ防止対策などの取り組みを行っており、インターナショナルセーフスクールの導入については、

市立病院の概要について

質問 市立病院の現状抱えている環境と今後の病院経営方針について伺います。

回答 市長 まず市立病院の現状と今後の経営方針については、「医療介護総合確保推進法」の施行により、山梨県から本年度には「地域医療構想」を踏まえた上での病床機能の転換方針が示されることとなっています。今後、当院においては保健・介護・福祉と連携した地域における医療提供体制の維持・確保と健全経営をいかに図るかという役割が求められています。そのため、現在策定中の「新市立病院改革プラン」に基づいた経営指標のほか、医療機能指標に係る数値目標を設定し、収入の確保や経費削減を行うことで、収支改善と経営の安定化を図

る予定です。

穴山駅前広場の整備について

質問 穴山駅前の広場全体を一面として表面管理する中で活用できるような工夫はありますか。

回答 市長 穴山駅前広場は長期間の無断駐車が多いことに加え、除雪や環境美化など、その都度苦情が寄せられるとの理由により、昨年10月JR東日本から用地の管理上、駅前広場を封鎖して最小限の車両転入スペースのみを設ける意向が示されました。その後、穴山駅の利用者の利便性に著しく支障をきたすなど、穴山町からの要望も受けるなかで、JR東日本八王子支社との再三に渡る交渉を重ねた結果、本市において維持・管理をすることなどを条件に当初の倍以上である現在のスペースを確保できました。これまでの交渉経過を勘案する限り、駅前広場全体の活用については、当面困難と考えますが、再度要望していきます。

委員会活動報告

各議案番号の件名については、4頁「平成27年 第3回定例会議決結果一覧表」をご覧ください。

〔9月定例会会期中の委員会〕

総務教育常任委員会

9月15日開催（出席議員6人）

■主な審査事項

- 議案第59号、第60号、第61号及び第65号
- ・右の4議案は、全員一致で可決すべきものと決しました。
- 請願第26-1号…消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願（継続審査案件）
- 請願第27-1号…政党助成金の廃止を求める請願（継続審査案件）
- 請願第27-2号…安全保障関連法案の徹底審議を求める請願書（継続審査案件）
- 請願第27-3号…30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書（新規案件）
- ・右の4請願について、第27-1号は全員一致で採択すべきものと決しました。また第26-1号及び第27-2号は挙手多数で採択すべきものと決しました。なお、第27-1号は挙手多数で継続審査案件とすることに決しました。

市民生活常任委員会

9月15日開催（出席議員6人）

■主な審査事項

- 議案第62号
- ・右の議案は、全員一致で可決すべきものと決しました。

産業建設常任委員会

9月15日開催（出席議員5人）

■主な審査事項

- 議案第58号、第63号及び第64号
 - ・右の3議案は、全員一致で可決すべきものと決しました。
 - 請願第26-2号…労働者派遣法の改悪に反対する意見書の提出を求める請願（継続審査案件）
 - 請願第26-3号…最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願（継続審査案件）
 - ・右の2請願は、挙手多数で継続審査案件とすることに決しました。
- ※総務教育常任委員会及び産業建設常任委員会で継続審査案件となっていた3件の請願については、10月9日の議員任期満了により審議未了となり、新しい議会には継続されません。

市議会の虚礼廃止にご理解をお願いいたします

議員は、選挙区内で次のようなことは公職選挙法で禁止されています。

- ◇各種行事に金品を贈ること。
- ◇お中元、お歳暮、花輪、祝儀等（親族などを除く）を贈ること。
- ◇年賀状や暑中見舞いなどのあいさつ状（自筆の返答を除く）や有料のあいさつ広告を出すこと。

市民、各団体皆様のご理解をお願いいたします。

12月定例会日程〈予定〉

- 12月 3日 開会
諸報告
市長所信表明
- 12月14日 一般質問
- 15日 一般質問
- 16日 議案審議
財務常任委員会
- 17日 各常任委員会
- 21日 議案審議
委員会報告
閉会

※上記日程は、定例会前の議会運営委員会において正式に決定されます。

※委員会の傍聴を希望する方は、事前に申込手続きが必要です。

※本会議は、インターネットでライブ中継・録画中継を配信しています。

編集後記

10月に執行されました市議会議員選挙から2か月が経ちました。新たに選出されました18名の議員で、これからの任期中において市政運営の基本的な方針を議決し、その執行状況を評価していきます。今後も議会の活動にご理解、ご協力をお願いいたします。

また、今号から編集委員も新メンバーとなりました。議会だよりは議会活動をお知らせするため大切な広報誌です。今後、内容の充実に努め、ご愛読いただけるよう作

成してまいります。さて、本年も間もなく師走を迎えます。年末を控えご多忙な日々をお過ごしのことと思いますが、どうぞ健康にご留意いただき、来る年が健やかな良い一年でありますようお願いいたします。

市議会だより編集委員会
委員長 森本由美子
副委員長 宮川 文憲
委員 小林恵理子
興石 賢一
山本 雄次
高添 秀明
守屋 久

議員紹介

①氏名(ふりがな) ②年齢 ③当選回数 ④住所 ⑤電話番号 ※年齢は10月10日現在



① **金井 洋介**
(かない ようすけ)
② 40歳
③ 1回
④ 龍岡町下條東割
736-3
⑤ 23-0211

議席番号 **1**



① **木内 吉英**
(きうち よしひで)
② 45歳
③ 1回
④ 若宮1-10-22
⑤ 22-1628

議席番号 **2**



① **小沢 栄一**
(おざわ えいいち)
② 51歳
③ 1回
④ 藤井町北下條
1712-2
⑤ 22-6078

議席番号 **3**



① **内藤 正之**
(ないとう まさゆき)
② 60歳
③ 1回
④ 清哲町青木
1845
⑤ 23-5873

議席番号 **4**



① **渡辺 吉基**
(わたなべ よしもと)
② 71歳
③ 1回
④ 旭町上條北割
2095-4
⑤ 23-0340

議席番号 **5**



① **浅川 裕康**
(あさかわ ひろやす)
② 38歳
③ 2回
④ 龍岡町若尾新田
172-1
⑤ 22-0905

議席番号 **6**



① **守屋 久**
(もりや ひさし)
② 53歳
③ 2回
④ 穴山町3194
⑤ 25-5067

議席番号 **7**



① **宮川 文憲**
(みやがわ ふみのり)
② 65歳
③ 2回
④ 穂坂町柳平155
⑤ 22-2194

議席番号 **8**



① **高添 秀明**
(たかそえ ひであき)
② 66歳
③ 2回
④ 中田町中條
4270
⑤ 22-8213

議席番号 **9**



① **清水 康雄**
(しみず やすお)
② 66歳
③ 2回
④ 旭町上條北割
2662
⑤ 22-4388

議席番号 **10**



① **山本 雄次**
(やまもと ゆうじ)
② 67歳
③ 2回
④ 旭町上條南割
1985
⑤ 22-4493

議席番号 **11**



① **田原 一孝**
(たはら かずたか)
② 68歳
③ 3回
④ 龍岡町下條南割
1592
⑤ 22-0879

議席番号 **12**



① **西野 賢一**
(にしの けんいち)
② 55歳
③ 3回
④ 藤井町南下條
497-5
⑤ 22-8811

議席番号 **13**



① **小林 伸吉**
(こばやし しんきち)
② 60歳
③ 3回
④ 藤井町駒井768
⑤ 22-5384

議席番号 **14**



① **輿石 賢一**
(こいしし けんいち)
② 71歳
③ 3回
④ 龍岡町下條東割
775
⑤ 22-2311

議席番号 **15**



① **森本由美子**
(もりもと ゆみこ)
② 53歳
③ 4回
④ 円野町上円井
2167-3
⑤ 27-2573

議席番号 **16**



① **一木 長博**
(いちぎ たけひろ)
② 67歳
③ 5回
④ 円野町入戸野
1118-1
⑤ 27-2328

議席番号 **17**



① **小林恵理子**
(こばやし えりこ)
② 60歳
③ 6回
④ 中田町小田川
291-8
⑤ 25-4103

議席番号 **18**

にらさき
議会だより

第166号
平成27年11月25日

発行所／山梨県韮崎市議会
〒407-8501 山梨県韮崎市水神1丁目3番1号
TEL/0551-22-1111(代)

発行人／韮崎市議会議長 森本 由美子
編集／韮崎市議会だより編集委員会
印刷／株式会社アートプリント